



主 題

クラブ(主 題)「エッサ! ホイサ! ヨサ!」 高部 雅一 会長

国 際(主 題)“The Power of One” 「一つとなる力」

Kevin Cummings (カナダ)

ア ジ ア(主 題)“Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」

Chon Byung-Koo (韓国)

西日本区(主 題)“Love & Care for All the Living Things” 「すべてのいのちを大切に」

Life, Peace, Environment

いのち・平和・環境

鈴木 誠也(神戸ポートクラブ)

中 西 部(主 題)「元気はつらつ中西部」

金田 恒(大阪高槻クラブ)

聖 句

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

ローマ人への手紙 12章 15節

エゴの肥大化を観察し 受容れる事の効用

鯉田 勝紀

現在、私はとある団体で企業の経営状況を審査してその企業にフィードバックレポートを提出し、企業の経営改善に役立てていただくという仕事をしています。この団体で、その審査を担当する人たち(以下、審査員といいます)は、生まれも育ちも つまり、年齢はもちろん、所属する企業、専門分野や歩んできた経歴もまったくばらばらの人たちです。このようなある意味、能力(持っている能力はもちろん、その力量も含めて)がまったくばらばらの審査員が4,5人で審査チームを構成してひとつの企業を審査します。そして審査企業から提出された報告書をもとにそれぞれがレポートをまず作成し、その各々のレポートを持ち寄って検討して最終的にチームでひとつの報告書を作成します。

このまったく能力がばらばらの複数の審査員。当然ながら、同じ情報を基に審査レポートを書いても、似ているところはあっても、基本的には意見がまったく異なります。それぞれの特色が色濃くレポートに出てきます。例えば私なら公認会計士として生きてきた15年間の経験や知識と、今まで出会ってきた私が師匠や先生と慕っている各方面で活躍されている方からの教えをもとにレポートを作成しています。そして他の審査員も各々の経験等をもとにレポートを作成しています。(P4に続く)

11月 例会プログラム

< Public Relations, Wellness >

日時: 2009年11月17日(火) 18:30~20:20

会場: 土佐堀 YMCA 会館 9F

司会: 北村 詔四メン

例会担当: 広報事業委員会(福永、岩田、北村、西田)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 高部 雅一 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | 工藤 義正 メン |
| 5. 食前感謝 | 工藤 義正 メン |
| 6. 晚餐と歓談 | — 同 |
| 7. 会員総会・次期会長選挙、クラブ議事 | |
| 8. 新人メンバースピーチ | |
| 9. YMCA ニュース | 小路清一 連絡主事 |
| 10. インフォメーション | 水口 美里 書記 |
| 11. 誕生日・結婚記念日 | 高部 雅一 会長 |
| 12. ニコニコ・トスファンド | 北村 詔四 メン |
| 13. YMCA の歌 | — 同 |
| 14. 閉会宣言・点鐘 | 高部 雅一 会長 |

11月の強調テーマ Public Relations, Wellness

ワイズデーに呼応した活動計画と実績を、マスメディアに、取り上げてもらおう。ワイズメンズクラブの社会的認知度を高め、ワイズメンであることに誇りをもって、EMC やクラブの活性化につなげましょう。長谷川和宏広報事業主任(名古屋東海クラブ)

役員会報告

水口 美里

日時：10月27日(火) 18:40～20:40

場所：大阪YMCA会館 604号室

出席者：高部会長、生地、奥田、工藤、小森、小路、灰谷、福永、水口(書記)

報告・確認事項

1. 10月例会 [20日(火)18:30 大阪YMCA会館902号室]
 - 出席者：メン17、メネット3、ピジター1、ゲスト3、計24名、メーキャップ0、出席率77.3%、ニコニコ：13,000円、トスファンド：3,060円
 - 28名出席予定のところ、当日欠席の連絡が5名あった。
 2. 中西部・阪和部合同EMCシンポジウム
 - 10/17(土)土佐堀YMC A10階、参加者：4名
- 協議事項
1. 11月クラブ例会 [11月17日(火) 18:30] について
 - 例会担当：広報委員(福永委員長、岩田、北村、西田)
 - 内容：A. 臨時会員総会
 - 1) 次期クラブ会長選挙
 - 協議の結果、生地副会長の内諾を得た。
 - 2) EMC目標達成のため、若い会員の優遇制度を創設することとし、クラブ内規の改訂を諮る。
 - 3) 60周年記念祝会の日程を協議決定する。
 - B. 最近入会された7人の会員の5分間スピーチ
 2. 12月クラブ例会 [12月15日(火)] について
 - 例会担当：EMC委員(小森委員長、沖口、工藤、灰谷)
 - 内容：クリスマスと忘年会を兼ねた親睦会とする。
 - 場所：ラウンジ“翔”(予約済み) 会費：5,000円
 3. ボランティア協力依頼と参加者の確認等について
 - 1) とさぼりカーニバル [11月3日9:00から準備]
 - 参加者：生地、奥田(2)、北村(2)、工藤、小森、小路、高部、只野、西田、灰谷、福永、水口、14名
 - 2) 第15回チャリティラン [11月23日9:00大阪城公園]
 - 参加者：生地、奥田、北村(メネ)、工藤、小森、小路、高部、只野、福永、9名
 - 出走支援金50,000円は会計から小路メンに渡し、支援チームについてはYMCAに一任する。
 - 3) クリスマス献金キックオフの集い“音楽と交わり”
 - 11月9日(月) 18:30 大阪YMCA会館10階チャペル
 - 参加者：奥田、工藤、高部、只野、小路、灰谷、水口
 4. 韓国IBC訪問予定 [11月26日(木)～29日(日)]
 - 参加者：灰谷(団長)、岩田、北村(メネ)、工藤、小森
 - 訪問先：三多クラブ、ハンバットクラブ、ソウルYMCA、聖岩クラブほか(日程作成中)
 5. 2010年西日本区大会(広島)にIBCを招請する件
 - 西日本区から西日本区大会にIBC参加を呼びかけるよう英文チラシとレターのサンプルが来ているので、レターを土佐堀名で作成し、全IBCに送付する。(担当：水口)
 6. その他
 - ・11月ブリテン委員会：11月12日(木)18:30 奥田ビル
 - ・第2例会・役員会：11月24日(火)18:30 大阪YMCA 6F

10月

例会報告

水口 美里

10月例会は、メンバー17名、メネット3名と、やや淋しい出席率となりましたが、永井温子さん、小録大介さん、YMCAの丹吾礼さんの3人のゲストと、ピジターとして藤井弥生なかのしまクラブ会長をお迎えして、なごやかな例会となりました。

今月のお話は、メンバースピーチとして、奥田時夫メンが「土佐堀ファームがスタートしました」という報告をしました。これは昨年度、小森会長がぜひやろうと呼びかけられ、今年度になってようやく実現したのです。

9月22日、JR学研都市線大住駅の近くにある農園を、クラブの7人が紹介者の宇都宮氏と見学に行きました。当日は、良ければ契約し、改めて農作業に行くつもりでしたが、既に耕した畝(約80㎡)を借りることができたので、さっそく鍬、スコップ、ホース、肥料などを買いに行き、地主さんからいただいた苗を植えました。その時の模様と、そのあと奥田夫妻が種まきと水やりに行かれた時の写真をパワーポイントで見ながら、奥田メンの説明を聞きました。来年の収穫が楽しみです。

このあと、「EMC目標達成のための若い会員の増強方法」について、全員で意見交換の時を持ちました。役員会提案の若い会員の優遇案(40歳未満の会費を50,000円に)などについて話し合われ、来月の例会での臨時会員総会で会則の改正を審議・決定して実施することにしました。



大住の畑(土佐堀ファーム)での一コマ

60周年記念事業実行委員会

役員会に続き60周年記念事業実行委員会が持たれ、工藤委員長から、記念会の日程は、韓国訪問に間に合うよう11月例会で決めたいとして、2011年4月10日(日)4月23日(土)5月21日(土)の3つの候補が挙げられた。次いで、60周年記念事業の役割分担について協議し、[総括]生地、[実行委員長]工藤、[総務]灰谷、小森、高部、水口、[プログラム]岡野、只野、[会場]奥田、福永を決めた。本日欠席のメンバーには、工藤委員長から打診する。新入の若い人たちにも広報などに加わってもらい、全員で取り組みたい。

IBC & International

<私が巡ったIBC(2)> 今村 一之

ハンバットクラブ(韓国・大田)

ハンバットクラブとの縁を結んだのは、今は退会した三井孝之助さんだったと覚えています。ハンバット側の窓口は、産婦人科医の申先生で、日本の医科大学卒業し、日本語が流暢な方でした。ほかにも製菓会社社長、洋服屋さん等々、親日家が多いクラブでした。

当時、アジアや国際の役員をしていた私は、土曜と日曜に韓国へということが多く、申さんの教会へも行き、その規模の大きさに圧倒されました。申さんが日本へ来られた時、塚口教会に出席され、礼拝出席者が200人ほどなのを見て、小さな教会との印象を持たれたようです。

大田はテジョンと呼び、ハンバットとも言うようで、大阪クラブに対応するのがテジョンクラブ、土佐堀クラブに当たるのがハンバットクラブという関係です。

申さんのお宅は、いろいろ日本方式を採用され、庭も日本庭園を模してあり、それがご自慢でした。日本人は直線や直角を上手に作るが、韓国はなかなかあのように出来ないとおっしゃっていました。大田の郊外にジュジョウ温泉があります。あるとき、大田駅前のホテルに泊まったら、こんなホテルは良くないと、強制的に温泉に案内されました。社会勉強のためと、キーセンパーティを開いてくださいました。生のニンニク、生焼けの栗など、味覚の相違を体験したのです。1時間ほどのパーティで何ほどのことが分かったかどうか。テレビでときどき見る程度の京都の舞妓との比較も出来ません。次いで温泉で裸のお付き合い。外国のワイズとの裸のお付き合いは、今のところこの1件です。

近くのお寺にも連れて行ってもらいました。韓国には五重の塔は3基しかないといわれたので、日本にはいくつあるか気になりながら、放ったらかしです。おそらく100はあると思うのですが、知っている方、教えてください。

朝鮮王朝の宮廷料理をおごっていただきました。“4本の机の足が折れる”といわれるほどの皿数が並びます。子どもの頃から「出された物はきれいにおあがり」といわれて育ちましたが、宮廷料理は残すのが礼儀とか。

申さんは、その後ご逝去、この偉大な先輩をなくしたのは、誠に残念です。合掌。

韓国 IBC 訪問予定

クラブより IBC 訪問団を結成し、11月26日(木)から29日(日)に韓国のIBCを訪問します。参加者は灰谷(団長)、岩田、工藤、小森、北村メネットの各氏。訪問先は三多クラブ(済州島)、ハンバットクラブ(太田)、ソウルYMCA、聖岩クラブ(ソウル)ほかになる予定です。

<韓国通信 part >

岩田 晋

韓国の中の日本

農村に残る日本家屋

9月に韓国を訪ね、二週間ほど滞在しました。10年前から、大学時代の友人と共同調査を進めている「韓国に残る日本家屋」の実測調査のためです。これまでは、軍人官舎、水産組合理事長官舎、大農場主邸宅、開業医院などを実測調査して来ましたが、今回は農場主邸宅です。以前に行なった農場主の家屋は洋風を取り入れた大がかりな建物でしたが、今回は入母屋造りの純日本風家屋です。現在の所有者はソウル居住のため、この家屋は空き家となっていますが、住みやすくするために改造された部分はある(例えばオンドル床)ものの、内部・外部とも完全な日本式住宅です。都市から遠く離れた、全羅北道の典型的な農村です。

全羅北道は昔から穀倉地帯として有名で、戦前は日本人経営の農場が無数に存在し、日本人が多く住んでいました。この村には農場経営を志す日本人が1895(明治28)年に初めて足を踏み入れましたが、1910(明治43)年には高知県や熊本県から集団で農業移住をして来ました。以来、この村には幾つかの農場が開かれましたが、今回調査したのは、その中でも比較的広い農場を経営した人の邸宅兼農場事務所です。二階の天井裏にも入りましたが、残念ながら棟札を見つけることは出来ませんでした。しかしながら、細かいところにまで贅を凝らした家屋でこの家に暮らした家族の生活様相を想像することが出来ます。韓国の農村にスックと聳える二階建ての日本家屋は異彩をはなっていたのではないのでしょうか。

この家屋を歴史遺産として修理保存しようという計画もあるようです。負の遺産から歴史を学ぼうとする動きが韓国各地で出て来ていることは、以前とは大きく異なるところですが、私達日本側も生きた教材とすべきではないのでしょうか。農場があった頃を記憶している、村の老人の方から多くの話を聞くことが出来たのも大きな収穫でした。五日間に亘る調査を終えた後、一旦、ソウルへ戻り、続いて全羅南道の港町を訪ねました。次回、そのお話をします。



全羅北道の農村に今も残る日本家屋

(P1 巻頭言続き)

エゴの肥大化を観察し受容れる事の効用

鯉田 勝紀

このような立場や能力が違う人たちが作成したレポートを集約しようという場合、一番気をつけなければいけない重大なことは、エゴの肥大化です。

エゴが肥大化してくると、

正しい / 悪い

勝ち / 負け

(相手を) 支配 / (自分を) 支配されないように

(自分を) 肯定 / (相手は) 価値なし

という二元性の世界にどんどん突き進んでいきます。つまり、俺の言っていることは正しい、あんたは間違っている、という世界です。その結果どうなるかというと、「議論」ではなく「討論」それも戦うという意味での「闘論」です。このような「闘論」になると、最終的には誰かひとつの意見に集約されてしまいます。その意見にたとえ「見落とし」があっても、それを会議で発見するというようなことは出来ません。そしてどこまでいっても新しい斬新な発想は出てきません。せっかくいろいろな知識を持っているチームの知識を十分に生かし、対立する意見であっても弁証法的にひとつ上の次元での解決法を模索し、今までになかった新しい視点で、斬新な解決策をチームで発見するというような有意義な話し合いになりません。

このようなことから、エゴが肥大化して、自分が正しいという立場でものを言い出したら要注意です。しかし基本的にエゴには愛はなく執着しかないのだそうです。そしてもしエゴがなくなるとそれは自分ではなくなり、生きているのか死んでいるのかわからなくなるそうです。つまりエゴはなくなりません。じゃあどうしたらいいのでしょうか。まず、「自分が正しい」なんてエゴ丸出しの意見を言い出したら、その自分に気付くことが必要です。そしてその自分に気付いたらその自分を否定するのではなく、その自分をそのまま受容し、今は何のための会議か、少なくとも自分の正しさを証明するための会議ではないということを思い出す必要があります。書くのは簡単ですが、やるのは困難です。なかなかお釈迦様のようにはなれません(笑)。ここはワイズメンズクラブなので、なかなかイエス様のようにはなれませんねと言うべきでしたね。しかし、少しでもこのエゴが肥大化する前に気付き、有意義な「対話」が出来るようになると、どんな困難な場面でもチームの力で乗り越えられるようになります。今の政治、経済状況で一番重要とされていることだと思います。

合掌ならぬアーメン。

YMCA ニュース

第199回大阪YMCA 早天祈祷会

日時：11月20日(金) 7:30~8:30

会場：大阪YMCA会館 10F チャペル

証し：藤岡 宏樹さん(松尾台幼稚園園長)

第15回チャリティーラン

日時：11月23日(月・祝) 9:00~14:00(雨天決行)

会場：大阪城公園

*運営ボランティアへの協力よろしくお祈りします。

とさぼりクリスマスをつどい

日時：12月7日(月) 18:30~20:00

会場：大阪YMCA会館ホール

*ボランティア(受付係)の協力よろしくお祈りします。

安全の日キャンペーン募金へのお礼

クラブから「安全の日」キャンペーンへのご寄付をいただきました。ありがとうございました。連絡主事 小路清一

11月の予定

12日(木)プリテン委員会(18:30~)

奥田事務所

17日(火)クラブ例会(18:30~)

土佐堀 YMCA

24日(火)第二例会・役員会(18:30~)

土佐堀 YMCA

12月の予定

1日(火)プリテン委員会(18:30~)

奥田事務所

15日(火)クラブ例会(18:30~)

ラウンジ「翔」

22日(火)第二例会・役員会(18:30~)

土佐堀 YMCA

11月の誕生日おめでとう

3日 井澤靖子

4日 鯉田由紀子

26日 奥田サト子

11月の結婚記念日おめでとう

3日 奥田時夫・サト子

23日 坂本松男・富子

24日 水口美里・久美子

25日 小坂井義文

<今月の題字写真> 朝霧 夜中にぐっと気温が下がったキャンプの朝、湖面に霧がたちこめる。体を縮こませ一人コーヒを淹れながら、暫し幻想的な風景を楽しむ。(Y)

10月例会出席者数

メンバー	17名
メネット	3名
コメント	0名
ビジター	1名
ゲスト	3名
出席者合計	24名

10月例会出席率

会員例会出席者	17名
メーキャップ	0名
合計	17名
現会員数	22名
出席率対象数	22名
出席率	77.3%

B F

切手	0 pt
現金	0 pt
10月合計	0 pt
今期累計	0 pt

ニコニコ

10月分	13,000円
今期累計	33,000円

TOS ファンド

10月	3,060円
今期累計	14,160円
トスファンド残高	
合計	1,309,060円